

報道機関各位

青森県立美術館副館長

勅使川原三郎×佐東利穂子 青森県立美術館トークを開催します

青森県立美術館では、令和6年12月20日（金）18時から、「勅使川原三郎×佐東利穂子 青森県立美術館トーク」を開催します。

両氏は国内はもとより欧州各国での名だたる賞を受賞するなど、世界的に活躍するダンサー・振付家であり、県内において両氏の創作活動について直接話を伺う大変貴重な機会となります。

ついては、取材及び報道につきまして、ご協力をお願いします。

記

1 トークイベント概要

- (1) 開催日時 令和6年12月20日（金）18:00～20:00（開場 17:00）
- (2) 会場 青森県立美術館スタジオ
- (3) 登壇者 勅使川原三郎氏、佐東利穂子氏
- (4) 内容 終わりのないダンス - 創作について
- (5) 観覧方法 電話・メールまたはフォームにて申込（観覧無料・定員 30 名（先着順））

2 登壇者略歴

(1) 勅使川原三郎

ダンサー、演出家、振付家。1981 年より独自の創作活動を開始。身体と空間を質的に変化させる唯一無二な身体表現は高い評価と支持を得ている。80 年代以降、フランクフルトバレエ団やパリオペラ座バレエ団を始めとしたヨーロッパの主要バレエ団に委嘱振付、エクサンプロヴァンスフェスティヴァル、ヴェニス・フェニーチェ劇場等でのオペラ演出、映像やインスタレーション作品の製作等、芸術表現の新たな可能性を開くアーティストとして世界中から依頼を受ける。2007 年ベッシー賞、文化庁芸術選奨・文部科学大臣賞、2009 年紫綬褒章、2017 年フランス芸術文化勲章オフィシエ、2022 年にヴェネツィアビエンナーレ・ダンツァにて金獅子功労賞を受賞、国内では文化功労者へ選出。現在、日本芸術院会員。

(2) 佐東利穂子

ダンサー・振付家。1995 年から KARAS ワークショップに参加。1996 年より勅使川原三郎振付の全グループ作品に出演。勅使川原のダンスメソッドを深く理解しながらも独自の身体性から生み出されるダンスと、美しい存在感は特別な存在として支持され、身体空間の新たな次元を切り開く芸術表現として国際的に注目されている。自身のソロ作品だけでなく、イタリアのアテル・バレットへの振付作品も手掛け、欧州で高い評価を得た。2012 年第 40 回レオニード・マシーン賞、2018 年芸術選奨文部科学大臣賞他、受賞多数。

※ 詳細は別添フライヤーをご覧ください。

（裏面に続く）

3 開催の経緯

青森県立美術館パフォーミングアーツ推進実行委員会では、2024年11月1日から4日まで、青森県立美術館版バレエ「アレコ」を開催するなど、これまで多くの舞台芸術公演を行ってきました。今般、本委員会委員長である榎本了吉氏を通じ、世界的に活躍する勅使川原三郎氏との新たなご縁が生まれ、当館を含む県内の舞台芸術企画や創作に関わる方全体のレベルアップに繋がる貴重なお話を聞く機会を頂けるとのご提案があり実現したものです。

今回のトークイベントと併せて、実際にアレコホールなど当館施設を視察いただき、美術館という空間での舞台芸術企画を行う際のアドバイスなども併せて頂戴することとしています。

4 取材につきまして

別添の取材申込書によりお申し込みください。

報道機関用提出資料（連絡先）	
担 当	青森県立美術館 舞台芸術企画課 担当：唐牛
電話番号	017-783-5243
所属長	青森県立美術館 副館長 境谷 孝司